



# ふじ美が原

富士見中学校



特集：三学期始業式

## あきらめなければ、夢は叶う 強い心を持ち、取り組み続けよう

### 三学期始業式 登校日数48日

三学期始業式 学校長の話

明けましておめでとうございます。平成三十一年がスタートしました。平成は今年の五月から年号が変わりますね。本年も、皆さんにとって素晴らしい年となるよう、祈っています。よろしくお願ひいたします。

今、一年生のK・Aさんが、先達の姿を学ぶことや勉強、部活を頑張ることについて、二年生のK・Sさんは、夢を基に、授業態度や家庭学習の充実と最学年への準備について、三年生のS・Mさんは、入試に向けた勉強、クラスの間と過ごす日々の生活と基本としての生活態度について、三学期の目標を発表してくださいました。皆さんは、三学期や平成三十一年を向かえての目標を立てていますか。もう目標を立てたと言う人？少ないですね。これから、ぜひ自分を振り返ってみてください。

長野県の千曲市出身で、プロ野球の楽天のシーズンで現役を引退しました。聖沢選手を知っている人はいますか？

聖沢選手は、新聞のインタビューで、「夢をあきらめなければ叶うことを証明できました」と答えています。聖沢選手は、中学時代は軟式野球部で、高校も公立の普通高校野球部でした。甲子園へ出場する等の華々しい活躍はしていません。大学へ進学して野球を続け、徐々に頭角を現し、ドラフトでプロ野球の楽天に四巡目に指名され、入団をしました。厳しいプロ野球の世界で十一年間も活躍するのはとても大変なことです。入団五年目には、盗塁王のタイトルも取っています。

さて、先ほど紹介した聖沢選手の「夢をあきらめなければ叶うことを証明できました」という言葉には、その前に別の言葉が付いています。それは、「環境の違いを言い訳にせず、意識を高く持てば」という言葉です。つまり、「あきらめなければ夢は叶う」という言葉は、「願ってさえいれれば夢は叶う」とは違います。今日は、「夢や目標を叶えるために必要なこと」について、考えたいと思います。

エピソードを一つ紹介します。一つ目は、実業団チームに入って活躍した長野県出身の男子バレーボールのA選手の話です。今は、朝の部活動は、やらない中学校が多かったり、やっても短時間の決められた時間に行ったりしています。富士見中もそうではないですが、その前に学校へ来て自主練習を行う生徒がいました。A選手は、長野市の中学校の男子バレーボールチームに所属していました。チームのキャプテンでセッターとエースを任されていた。毎日、バレー部の顧問が朝早く学校へ来て体育館の鍵を開けると、入口で待っていたA選手はすぐに体育館へ入り、ボールを触って、トス等の練習を始めます。ところが、他の選手は、鍵が開いてもすぐに体育館に入るのではなく、校庭をランニングして体力トレーニングをしてから体育館に入ります。そのような日々がずっと続くので、ある日顧問の先生が、A選手に「他の選手はみんな校庭を走ってから体育館へ来るのに、どうしてA君はすぐに体育館に入ってくるのか」と尋ねました。するとA選手は、

「日本のトップ選手が集まり、毎日過酷なトレーニングと練習メニューが組まれています。B先生は、その合宿で、吉田選手が誰よりも早く起きてトレーニングに励み、誰よりも遅くまで練習する姿に接し、「すごいなあ」と思っていたそうです。きつい練習が続く中、たまに休みがあります。みんなホッと一息ついて外出し、買い物をしたり、映画を見たりして過ごす中、宿舎に帰ってきてぱっと見ると、外を黙々と走る吉田選手が目にあったそうです。その瞬間、自分は絶対に吉田選手には勝てない」と感じました。

「何と答えたか思い出しますか？」

ちよっと、考えてみてください。

A選手は、顧問の先生の問いかけに、「僕は先生が体育館の鍵を開ける前に、校庭を十周走り終えて、それから体育館に来ていました」と答えたのです。

顧問の先生は驚くとともに、見えないところで努力をしているA選手の心の強さに感服したそうです。それからA選手は、長野県でもバレーボールで有名な高校に進学して活躍し、実業団に入ってセッターとして活躍しました。

二つ目は、長野県のある中学校のB先生の話です。B先生は、柔道で世界をめざした経験をお持ちで、柔道の大きな大会で、柔道家の吉田秀彦選手と決勝で戦い、敗れたという方です。吉田選手は、その後、一九九二年のバルセロナオリンピックで金メダルを取り、世界一になりました。

ある時、B先生は、柔道の日本代表の強化合宿に参加し、様々な階級で世界一をめざす方々と共に数週間を過ごしました。吉田選手もその中にいました。その合宿は、

「昨日、高校野球で甲子園を沸かせた早稲田実業の清宮という選手がいました。彼は、毎日学校で厳しい練習を行って家に帰ってきた後、自宅にトレーニング室があり、そこで毎日欠かさず3時間、自主的なトレーニングを行っていたそうです。私が以前勤めていた中学校に、バイオリンのコンクールで日本一になった女子生徒がいました。私が「日本一なんてすごいね。毎日どのくらいバイオリンを弾くの？」と軽く尋ねると、「三つん、五・六時間かな」と答えました。部活動はやっていませんでしたが、帰宅してから毎日五・六時間バイオリンの練習ができる心の強さに驚きました。

自分が興味をもったこと、好きなこと、やりたいことに対して、様々な誘惑、例えば、ゲームや漫画を読む等がありますが、これらの誘惑に負けず、何よりも優先してやり抜く力があるからこそ、夢や目標の実現につながるのです。このような、自分のやるべきことに向かえる力というのも、大切な学力です。

三学期に向けて、そして来年度に向けて、

皆さんそれぞれに、目標を立てていくと思  
います。それは、テストで何点を取るか、  
家庭学習にしっかりと取り組むとか、部活動  
で県大会に出場するとか、学校の習い事  
で成果を出すとか、それぞれに違うこと  
でしょう。その達成に向けて、日々、取り組  
むべきことを見定め、やり抜く強い心をも  
てるか。そして、それが自分にとって当  
り前の普通のこととなり得るか。その強い  
心を持ち続けられた人達が、目標を達成し、  
「夢は叶う」と話しているのです。

私も、様々な誘惑や怠け心に負けてしま  
いそうになります。実際に負けてしま  
うことも多々あります。私のような年齢にな  
っても、毎日が挑戦の日々なのです。皆  
さんが、昨年よりもちょっとでも強い心  
を持って取り組み続け、夢や目標を叶える  
ことができるよう、願っています。

### 今学期頑張りたいこと

一年四部 K・Aさん



私は、三学期に頑  
張りたいたことが三つ  
あります。一つ目は、  
来年二年生になるに  
あたって、先輩の姿  
をよく見て学ぶこと  
です。富士見中学校  
の宝である「あいさ  
つ・清掃・合唱」の三つを先輩方が教えて  
くださいました。これらをさらに大切に  
し、来年の一年生に伝えられるように  
したいです。そして、委員会についても、  
より多くのことを学びたいです。私は  
活性化委員なので、一学期、二学期と  
先輩方の生徒会を見て、私ももっと積  
極的に参加しなければならず、二学期は  
活性化委員会です。今年から一  
年生二つ目は、勉強です。中学生にな  
り、勉強が難しくなると、得意な科目と  
苦手な科目が明確になりました。前回の  
テストでは、苦手な科目を中心に勉強  
したら、二学期の中間テストより点  
数が良くなりました。苦手な科目も後  
回しにせず勉強したいです。三つ目  
は、部活です。今年からは一年生

も本格的にコンクールに出られるよ  
うになり、今月には、アンサンブル  
コンテストという大会があります。校  
長先生が話してくださった、強  
気の四訓を実行し、大会に臨  
みたいですね。楽器の練習だけ  
でなく、返事やあいさつなど、基本  
的なことができるようになりたい  
です。

### 三学期の抱負

二年三部 K・Sさん



突然ですが皆さんには夢  
がありますか？私にはありま  
す。あるといっても今の私  
では叶うことではないです。そ  
の理由は、授業態度が悪い  
こと、提出物が出せないから  
です。まず、授業態度これは  
二学期の中間頃からノート  
をとりながら、または前  
で話をしてくださる先生の  
話を聞いていないなど、授  
業中にぼんやりしている  
ことが多くなりました。期末  
テストが終わった頃、この  
状況では、だめだと思  
い、「しっかりとノートを  
とろう」、「先生の話を  
聞こう」、そう意気込み  
ましたが、心の中心で  
そう思うだけで、実行  
することができませんでした。  
そして提出物。これは  
もう小学校の低学年から  
言えることで、今でも  
学校にいる時は、「帰ら  
らば宿題をやろう」と  
意気込み、家に帰らば  
「やっぱり面倒くさい  
から後でいいや」と、  
やる気を無くし、後  
回しにする。それを  
ずっとずっと永遠に  
繰り返して小学校を  
卒業し、今まで過  
こしてききました。私  
は、私自身のききな  
性格で始めたら終  
わるまでやらない  
と納得がいかなかった  
ので、ちゃんと後  
回しにしてしまっ  
ても、実行する直  
前に「やっぱり後  
回ししよう」と思  
ってしまっただけ  
なんです。その証  
拠に、何かをやるとき  
は、ほとんどの確  
率で、「やっぱり後  
回ししようかな」と  
そう思ってしまう  
自分がいます。授  
業態度も提出物も  
それと同じような  
もので、「黒板は  
まだ消されな  
いだろうし、ノ  
ートを取るの  
は後でいいや」  
「明日の朝、早  
く起きて宿題  
をやればいい

や」とそんなことを繰り返して  
います。けれど、当然のこと  
ながら、授業態度も提出物  
も、どちらかがテストの  
点数と関わるし、通知表  
にも評価されます。

二学期の最初の先生の授  
業で、テストの点数も通知  
表の評価も高校入試に関  
係している、その二つが  
低いと入試に受かる可  
能性が低いから、今の  
うちに良くしていった  
方がいいと学級担任の  
先生に聞きました。つ  
まり今の私の状況では、  
高校に受かるのも難しい  
と思います。なので、  
まず私は、ここである  
決意をしたいと思います。  
三学期には、後回しに  
せず、授業態度を良  
くし、提出物を毎日、  
全部出すようにしま  
す。そのために後回し  
にすることを少しづ  
つ無くすというこ  
とを、頭の中に入れて、  
授業中は、無心でノ  
ートを取って、提出  
物は家に帰ったらすぐ  
にやる、というこ  
とを意識したいです。  
この二つを今よりも、  
もっとよくすることが  
できれば、今はかな  
う可能性の低い夢も、  
きつかなう可能性が  
高くなると思います。  
私の夢はまだ生ま  
れて間もない夢です  
が、自分の夢の実現  
のために、ここでの  
決意をきつかけに、  
今までの自分をいい  
方向に変えていける  
ようにしたいです。

また、その他にも、  
三学期にやることは  
たくさんあります。例  
えば、来年は私たちが  
最高学年なので、三  
年生が引継ぐあ  
なたかな期間を大切  
にし、生徒会を引き  
継ぐために先輩の姿  
をよく見るなど最高  
学年の準備がある  
し、修学旅行への  
準備も本格的にな  
ります。なので、自  
分ができることから  
コツコツとやって  
積み重ねていき  
たいです。

### 三学期の目標

三年一部 S・Mさん



三つ目には、基本  
を大切にすること  
です。基本という  
のは挨拶だったり、  
清掃時の身支度  
だったり四月の  
生活オリエン  
テーションで確  
認したことです。  
基本的なことが  
できなければ、  
最初に書いた  
勉強や、仲間  
との学校生活  
などの活動も  
なるとなく  
疎かになって  
しまおうと思  
ったからです。  
「まあいいか」  
なんていう心  
の隙をつくら  
ないように  
したいです。  
三ヶ月後、私  
は富士見中  
学校を卒業  
します。その  
時「やり切  
った」と言  
って、卒業  
できるように、  
この三つ  
のことを頑  
張る三学期  
にしたい  
と思います。

中学校生活最後の学期  
となる三学期。た  
くさん頑張りたい  
ことがあります。そ  
の中でも特に頑  
張りたいたことが  
三つあります。ま  
ず一つ目は、高  
校への進学を考  
えています。最近  
までしっかりと  
高校のこと  
について考え  
られていなか  
った私は、正  
直今、入試  
まで本  
当にわ  
ずかし  
かな  
いこ  
とに  
焦っ  
てい  
ます。  
同時  
に過  
去の  
自分  
に  
対  
して  
の後  
悔も  
あり  
ます。  
去  
年  
の  
今  
頃、  
高  
校  
入  
試  
に  
向  
け  
て  
の  
問  
題  
集  
が  
配  
ら  
れ  
た  
り  
し

富士見町立富士見中学校

諏訪郡富士見町富士見四六四番地

TEL 0266-6212009

担当 油井 彰